

「やまぐちデジタル実装推進事業」プロジェクト

車両×スマホ×AIによる官民連携の地域美化システム「山口モデル」の構築
に係る周南市での取り組みについて

周南市 リサイクル推進課

車両×スマホ×AIのタカノメシステムによるごみ分布状況の可視化 + ごみ拾いSNSピリカ⇒「ごみのないきれいなまちづくり」

事業

山口県「やまぐちデジタル実装推進事業」の選定プロジェクト【R5～R6年度実施】
車両×スマホ×AIによる官民連携の地域美化システム「山口モデル」の構築
(企画提案；(株)ピリカ、撮影協力；(株)中特ホールディングス、実施主体；周南市)

目的

ポイ捨て等の路上散乱ごみの問題に対し、
市民、企業、行政が連携して取り組む。

内容

ホームページ「しゅうなんクリーンアップ！」
による情報発信・データの活用

①周南エリアで撮影された路上ごみの分布
状況の可視化（タカノメ）

②周南市内のボランティア清掃の実施状況
の可視化（ピリカ）

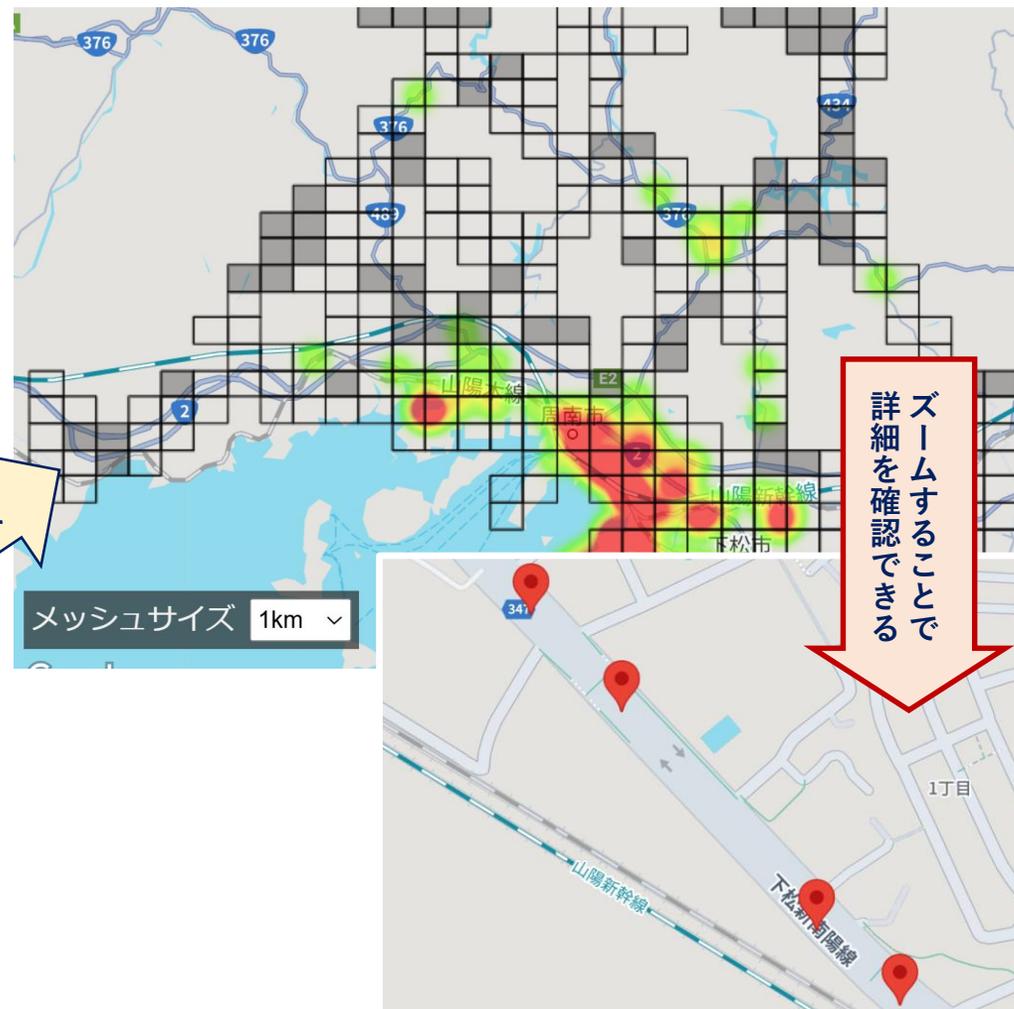


車両×スマホ×AIのタカノメシステムによるごみ分布状況の可視化 +ごみ拾いSNSピリカ⇒「ごみのないきれいなまちづくり」

①「タカノメ」によるごみの分布状況の可視化

タカノメとは、車両に設置したスマホカメラの撮影映像をAI分析し、ごみの位置情報を地図上に落とすシステム。

(株)中特ホールディングスのごみ収集車にスマホを設置し撮影
→撮影データを映像解析→ホームページ上の地図に反映



車両×スマホ×AIのタカノメシステムによるごみ分布状況の可視化 + ごみ拾いSNSピリカ⇒「ごみのないきれいなまちづくり」

②「ピリカ」と連動し地域の清掃活動を可視化

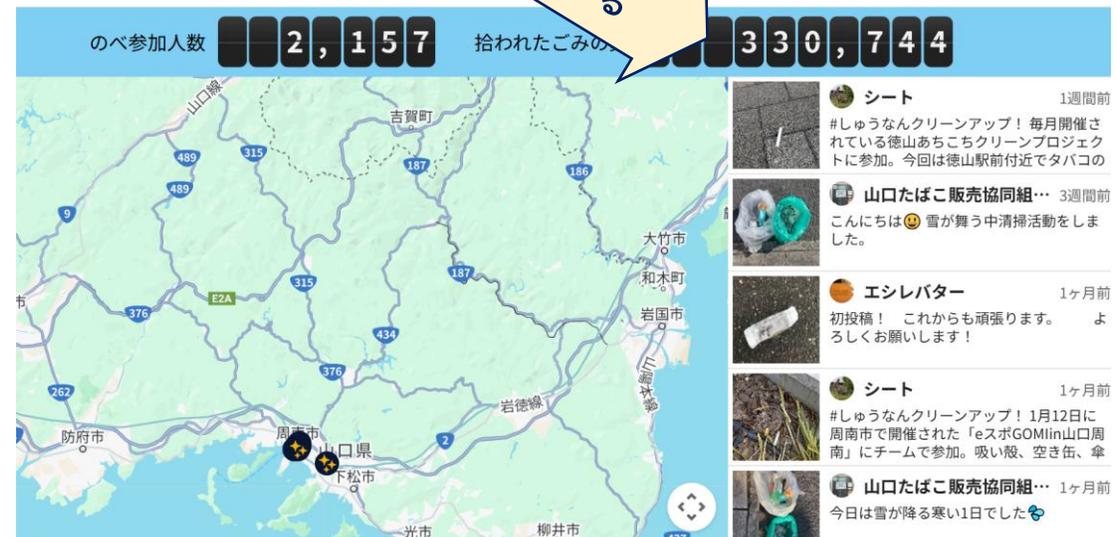
清掃活動の際に、ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用して投稿された市内の活動状況を確認することが可能。各地域の活動状況を共有し、仲間の輪を広げることで、地域の環境美化・清掃活動を促進。

- 手順1 SNSピリカのアプリをダウンロード
- 手順2 拾ったごみの写真を撮影
- 手順3 活動の記録を投稿
- 手順4 Webページに反映



成果の見える化によってモチベーションアップ!

投稿内容が確認できる



車両×スマホ×AIのタカノメシステムによるごみ分布状況の可視化 + ごみ拾いSNSピリカ⇒「ごみのないきれいなまちづくり」

※タカノメデータの活用事例(1)

ごみデータを活用した清掃企画

ごみ分布マップを活用した「清掃活動実施の手引き」を「しゅうなんクリーンアップ！」ページでダウンロードできるように設定

ボランティア清掃を実施する団体が、清掃エリアを決定する際に、ごみ分布マップ上のごみの状況を参考とすることで、ごみの多い場所を効果的に清掃することができる。

【地域清掃イベントでの実践例】

ごみのないきれいなまちづくり「冬の一斉清掃」(令和5年12月16日)

タカノメによるごみの分布状況を事前に把握
→参加者へ情報提供→ごみ量や満足度を確認



【株式会社ピリカ】
ポイ捨てごみ分布マップを活用した清掃活動 実施の手引き

◆ 本資料の目的、ポイ捨てごみ分布マップを活用した清掃活動の概要

- ▶ 本資料は、ポイ捨てごみ分布マップを活用し、より効率的な清掃活動を実施するための手引きです。
- ▶ 清掃活動にポイ捨てごみ分布マップを活用することで、ごみが多い場所を重点的に清掃できるようになるほか、限られた人数・時間で清掃する際にも、リソースに見合った清掃活動場所を見つけやすくなります。
 - 「清掃活動を実施したが、現地に行ってみると思ったよりごみがなくやり甲斐がなかった」反対に「清掃活動を実施したが、現地に行ってみると思ったよりごみが多く清掃しきれなかった」となる可能性を下げることができます。

◆ 清掃活動実施の手順

- ▶ 清掃活動を実施する人数や時間が決まっている場合
 - 両南市のごみ拾い活動・ごみ分布状況「見える化」ページ「しゅうなんクリーンアップ！」を開き、ポイ捨てごみ分布マップを表示する
 - 両南市のごみ拾い活動・ごみ分布状況「見える化」ページ「しゅうなんクリーンアップ！」▼

ポイ捨てごみ分布マップに表示されたヒートマップを参考に、清掃活動を予定している人数や時間に合わせて、清掃活動を行うエリアを決める

■ 清掃エリアが決まったら、Googleマップでそのエリア周辺を写したスクリーンショットを撮影し、スクリーンショットに書き込む形で清掃エリアを示す

- スクリーンショットに書き込む際には、パソコン等に搭載されているペイントツールなどを活用するとい
- 清掃エリアを表示した例▼

車両×スマホ×AIのタカノメシステムによるごみ分布状況の可視化 + ごみ拾いSNSピリカ⇒「ごみのないきれいなまちづくり」

※タカノメデータの活用事例(2)

ごみデータを活用した出前授業

ごみ分布状況のデータを参考資料とした、小学校4～5年生向けの「環境学習授業パッケージ」を「しゅうなんクリーンアップ！」ページでダウンロードできるように設定

海ごみの発生過程を学習する中で、陸ごみについても調べる。身近なエリアの路上ごみ分布状況を確認し、自分の暮らすまちの現状を知ることによって、環境問題への関心度が高まり、理解が深まる。

【出前授業の実践例】

市立今宿小学校「ごみ問題と私たちにできること」(令和6年10月9日)

4年生の環境学習においてごみ分布データを活用

